

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2111113	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	小林 将大		
論文題目	オンライン議論の過熱現象における言語的特徴の抽出と分析		
要旨			
<p>オンライン議論における過熱した会話は、円滑なコミュニケーションや協調的な意思決定を妨げ、また参加者の心理に悪影響を及ぼす。本稿ではこのような現象を防ぐことを目的としてオンライン議論の過熱と投稿の言語的特徴の関連性に着目し、二つの分析を行った。</p> <p>第一の分析では過熱した議論の投稿と言語的特徴との間に関連性があるかどうかを比較分析によって検証した。まず、「井戸端」と呼ばれるWikipediaのコミュニティページに投稿された投稿のデータセットを作成した。次に、議論における過熱現象と5つの言語的指標を定義し、全投稿の指標値を算出した。各投稿は過熱の定義に基づいて4つまたは2つのクラスに分類した。分析では算出した指標値を用いてこれらのクラスを比較した。結果としてこれらのクラス間には一定の言語的な差異があることがわかった。</p> <p>第二の分析ではネガティブな感情の投稿と過熱との関係について分析を行った。まず第一の分析と異なる形で過熱の定義を行った。次にネガティブな感情の投稿が議論構造に与える影響に関する3つの仮説をたて、第一の分析と同様のデータセットに感情をラベリングし仮説を検証した。検証の結果、2つの仮説を支持する形でネガティブな感情の投稿がその後の議論の過熱に影響を及ぼすことが確認された。</p>			